

平成28年度 輸送の安全に関する公表（軌道事業）

1 安全方針

- (1) 常に安全意識を高く持ち、お客様の安全の確保を最優先します。
- (2) 関係法令等決められたルールを遵守します。
- (3) 安全を守るための取り組みを絶えず見直し改善します。

2 行動規範

- (1) 安全の確保は輸送の生命である。
- (2) 規程の遵守は安全の基礎である。
- (3) 執務の厳正は安全の要件である。
- (4) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとる。
- (5) 情報は漏れなく迅速かつ正確に伝え、透明性を確保する。
- (6) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

3 平成28年度安全重点施策

- (1) 安全輸送への積極的な姿勢を向上させるため、ドライブレコーダー等での事故分析を活用した教育を充実し、重大事故撲滅と事故件数を対前年度10%削減します。
- (2) 緊急時の確実な対応を目指し、充実した教育訓練をします。
- (3) 運輸の安全を確保するため、健康意識の向上に努めます。

4 平成28年度安全重点施策の達成状況

- (1) 年2回の全体研修の際にドライブレコーダーの実際の事故映像による原因究明、対処法をそれぞれの運転士に分析させ、今後の運転に活かせるよう有効活用している。事故件数は、平成27年度の50件から平成28年度は33件で、前年度比約35%の削減となりました。
- (2) 運転士の技術の向上のため、速度感・距離感等の運転技能教育研修のほか、消防と連携して、事故発生時を想定した脱線復旧訓練を行うなど特に専門性を要する訓練を行いました。
- (3) 年1回の定期健康診断、出勤時に司令による点呼での健康状態のチェックのほか、心身の健康に関する相談日を設定するなどしました。また、健診結果を把握することで常日頃から自己管理による健康意識の向上に努めました。

5 事故等に関する情報

(1) 軌道運転事故

過去5年間の軌道運転事故の発生件数と死傷者数の推移					
年度	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
事故件数	4件	0件	6件	6件	5件
死傷者	2人	0人	6人	3人	4人
うち死者	0人	0人	0人	0人	0人

(2) 輸送障害

3件発生しました。

(平成28年5月25日(水)、平成29年1月2日(月)、3月16日(木))

(3) 電気事故

発生はありませんでした。

(4) 災害(地震や暴風雨、豪雪等)

台風16号接近のため運休しました。

(平成28年9月20日(火) 始業から6時30分まで)

(5) インシデント(重大事故につながりかねない案件)

発生はありませんでした。

6 輸送の安全確保のための取組み

(1) 人材対策

(ア) 電車事業課 運輸係

	研修名	期間	受講者数
1	春の全国交通安全運動によせての研修(合同)	4月11日～4月13日	94人
2	現任教養研修(5年以下若年運転士)	5月16日～5月27日	25人
3	運転技能教育研修第1回(速度・距離・停止位置)	6月15日～6月16日	7人
4	「谷山脱線事故」を受けての研修	6月21日～6月23日	93人
5	事故惹起者研修	7月27日～8月5日	1人
6	事故惹起者(フォローアップ)	8月19日～9月27日	1人
7	運転技能教育研修第2回(速度・距離・停止位置)	9月13日～9月14日	10人
8	司令・監督に対する研修(指導法等)	10月18日～10月19日	10人
9	運転技能教育研修第3回(速度・距離・停止位置)	11月17日～11月22日	12人
10	安全に関する研修(新任運転士)	11月25日	6人
11	事故惹起者(フォローアップ)	11月28日～12月1日	1人
12	「年末年始の輸送等に関する安全総点検」 を受けての研修	12月7日～12月9日	103人
13	事故惹起者(フォローアップ)	12月14日～12月19日	1人
14	新任運転士研修(新任運転士)	12月20日	8人
15	九州運輸局 鉄道部安全指導課 課長補佐 出前トーク	12月21日	33人
16	「非常の場合の措置」消防・合同脱線復旧訓練	12月22日	30人
17	低床電車重故障時の解除訓練・車両連結訓練 (新任運転士、監督)	12月27日	12人

18	運転技能教育研修第3回（速度・距離・停止位置）	1月17日～1月20日	15人
19	事故惹起者（フォローアップ）	1月17日～1月20日	3人
20	新任運転士見極め研修（新任運転士）	2月10日	8人
21	事故惹起者（フォローアップ）	2月16日～2月20日	2人
22	事故惹起者（フォローアップ）	3月13日	2人
23	新型電車（7500形）取扱い研修	3月21日～3月28日	104人

(イ) 電車事業課 車両係

	研 修 名	期 間	受講者数
1	春の全国交通安全運動によせての研修（合同）	4月11日～4月13日	18人
2	芝刈・散水装置取扱い研修（新人）	4月22日	1人
3	玉掛け技能教習	5月16日～5月18日	1人
4	クレーン運転業務教育（新人）	6月6日～6月7日	1人
5	アーク溶接等業務教育（新人）	6月20日～6月22日	1人
6	「谷山脱線事故」を受けての研修	6月21日～6月23日	8人
7	「ハンドスコッチ使用中」札取扱い	6月24日	17人
8	作業安全心得改定に伴う研修	7月6日	21人
9	消防・車両係合同「脱線復旧訓練」 （局長・次長、安統官、各課長も参加）	7月28日	12人
10	毎日・交番・重要部・全般検査記録票の見直し	8月25日	18人 ※囑託等含む
11	車両整備に関する知識度調査	9月20日	1人
12	芝刈・散水装置取扱い研修（新人）	9月29日	15人
13	9502号コンプレッサー故障原因について	11月24日	23人
14	「年末年始の輸送等に関する安全総点検」 を受けての研修	12月7日～12月9日	20人
15	コンプレッサー点検マニュアルについて	12月12日	18人
16	九州運輸局 鉄道部安全指導課 課長補佐 出前トーク	12月21日	6人
17	「非常の場合の措置」消防・合同脱線復旧訓練	12月22日	14人
18	運転技能教育研修第3回（速度・距離・停止位置）	1月17日～1月20日	1人
19	E B I ブレーキ解放訓練	1月12日	11人
20	運転技能教育研修（速度・距離・停止位置）	2月24日	8人
21	新型電車7500形取扱研修	2月28日	26人
22	新型電車交番検査勉強会	3月8日	14人
23	新型電車台車及び主電動機取扱研修	3月10日	26人
24	電車整備心得の一部改正及び電車整備実施基準の 制定に伴う研修	3月29日	16人

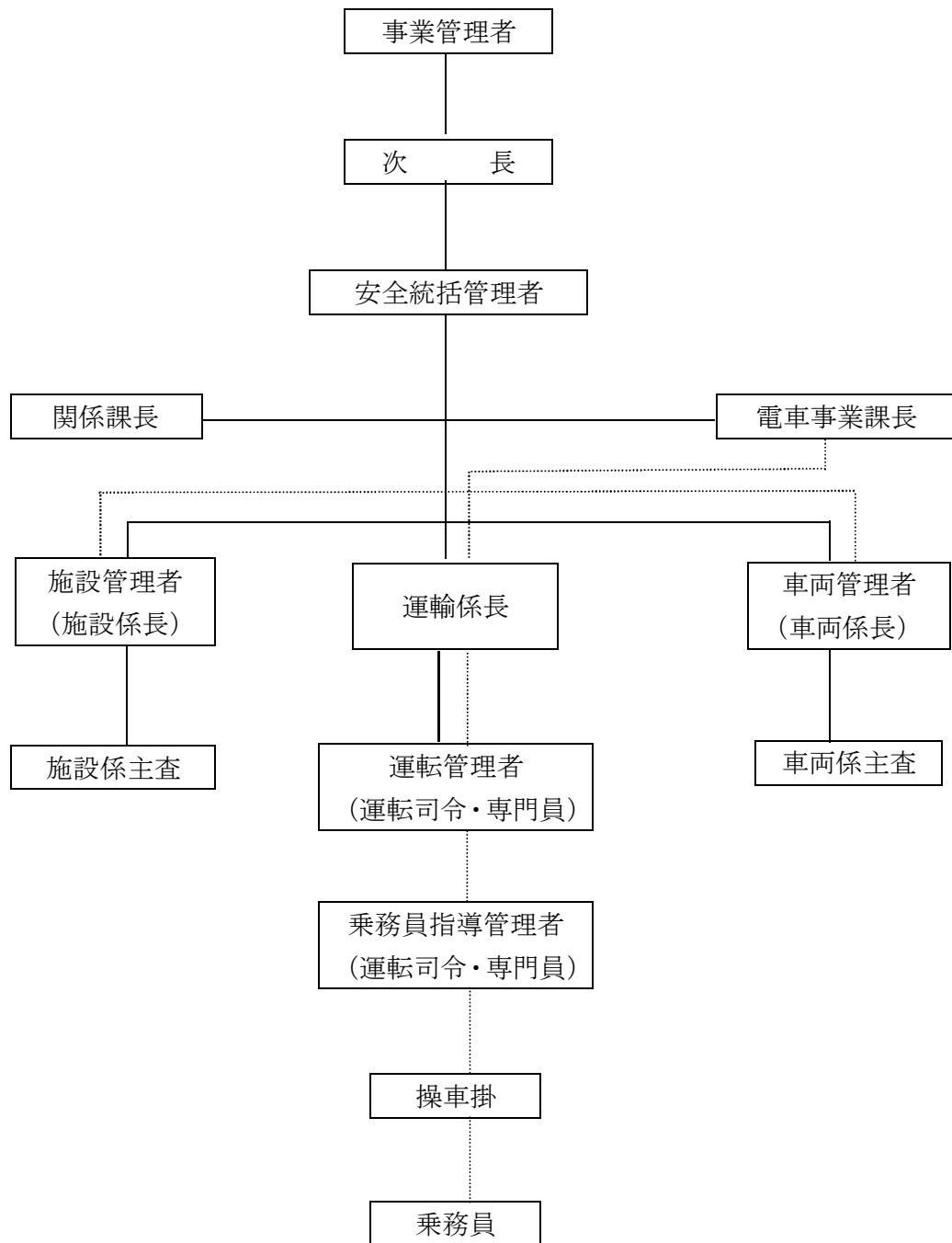
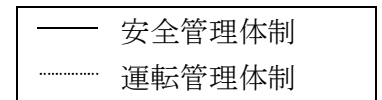
(7) 電車事業課 施設係

	研 修 名	期 間	受講者数
1	春の全国交通安全運動によせての研修（合同）	4月11日～4月13日	14人
2	変電所研修	5月19日～5月20日	6人
3	玉掛け技能講習	6月13日～6月15日	2人
4	アーク溶接等の業務の特別教育	6月20日～6月22日	1人
5	玉掛け技能講習	6月27日～6月29日	1人
6	芝刈・散水装置取扱い研修	9月29日	15人
7	小型移動式クレーン運転技能講習	10月11日～10月13日	1人
8	電気主任技術者実務セミナーを受講しての研修	10月13日・10月17日	6人
9	玉掛け技能講習	10月24日～10月26日	1人
10	軌道整備心得勉強会	11月28日	5人
11	軌道巡視日報についての説明会	12月6日～12月7日	6人
12	「年末年始の輸送等に関する安全総点検」 を受けての研修	12月7日～12月9日	13人
13	九州運輸局 鉄道部安全指導課 課長補佐 出前トーク	12月21日	2人
14	「非常の場合の措置」消防・合同脱線復旧訓練	12月22日	8人
15	アーク溶接等の業務の特別教育	1月16日～1月18日	2人
16	軌道整備心得勉強会	1月23日	5人
17	フォークリフト運転技能講習	2月6日～2月10日	1人

(2) 施設対策

- ・ 電車線の可動ブラケットの点検を行い、腐食箇所は交換を行いました。
- ・ 高見馬場交差点の分岐器クロッシングの交換及び舗装改修を行いました。
- ・ 谷山の分岐器のトングレールの交換を行いました。
- ・ 郡元電停交差点（積善社前）ほか2か所、横断歩道部の舗装改修を行いました。
- ・ 天文館通停留場の上屋屋根の改修を行いました。

7 鹿児島市交通局電車安全管理規程で定める安全管理体制



8 各責任者の責務（鉄道事業法施行規則第36条の10第2号の情報）

役 職	責 務
事業管理者	輸送の安全の確保に関する最終的な責務を負う。
次 長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事及び財務に関する事項を統括する。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
電車事業課長	輸送、施設及び車両の業務を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転士の資質の保持その他運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者	安全統括管理者の下、車両に関する事項を統括する。